

各地の職場から

今回は神奈川県横須賀基地に勤務し活躍されている方々を紹介します。



プロフィール

お名前：萩尾 しのぶ
 職場名：米海軍施設技術部隊 極東地域本部 環境統括課
 職種：技師職（環境）
 趣味：ランニング、国立公園巡り

プロフィール

お名前：田原 隆弘
 職場名：米海軍日本管区司令部 緊急対策課日本地域総合急派センター
 職種：主任火災警報発信職

コメント

私は2010年8月に環境技師として施設技術部隊環境課に入職し、2013年12月より同部隊の環境統括課内の検査室(EVラボ)にて、当ラボが提供する分析業務及び結果の品質保証・管理担当者として勤務しています。

私が現在所属するEVラボでは、飲料水、汚水、排水等の水質検査、大気測定、また、廃棄物(有害性)、ペイントチップ(鉛濃度)、建材(アスベスト含有率)等の分析・検査及び分析契約業者ラボへの委託業務の調整等が行われます。ラボ内での私の役割は、EVと契約業者の両ラボでの分析結果を受け、カスタマーに提供する分析データの保水性や完全性、また、信頼性を保証・管理する事です。

環境分野において、多岐にわたる種類の試料を分析・検査するEVラボで、勤務するメンバーは、監督化学職と化学職の小所帯です。日々の業務の際、同僚たちを見ていて、いつもEVラボは「縁の下力持ち」のような存在だと感じます。最終的にカスタマーの皆様の手元に届く、ほんの数ページの分析結果報告書には、基地内の環境保全のため、また、基地コミュニティーで過ごす人々の健康のために、非常に重要となり得る情報が記載されています。そして、その分析結果報告書は、EVラボ分析担当者たちの、精密な装置を操る「高いスキル」と、毎日のように持ち込まれる多種多様な試料の検査を継続して行う「安定性」により作り上げられているのです。

施設技術部隊極東地域本部、環境統括課の管轄は非常に広範囲で、EVラボのサービスも日本の国内全域に広がる米軍基地にて提供されています。地理的な観点からすると、我々はみなさんから遠く離れているかもしれませんが、毎日、横須賀から日本全国の基地で働く皆さんの環境と健康をお守りする手助けが出来事を嬉しく思っています。

コメント

はじめまして。横須賀基地911緊急対策課日本地域総合急派センター(RDC)に勤務している田原隆弘と申します。現在、横須賀支部のリーダーとして2020年をもって10年となりました。

日本では緊急時にかかる通報用電話番号が110番と119番に分かれていますが、アメリカでは911番が緊急電話番号として統一されており、日本国内の米海軍施設においても911番に通報することで最寄りのセンターへつながり、米軍内の警察(事件・事故)、消防(火災・救急車)のいずれも要請することができます。現在当部署では主に横須賀基地及びその周辺管轄施設で働くSOFA(日本国内に駐留するアメリカ合衆国の軍人/軍属)の方々とその家族、米海軍施設で働くすべての人々の安全を守るべく24時間体制で監視にあたっております。緊急通報を受ける度、通報内容を精査すると同時に最適な緊急車両や部隊を編成し、出動後は車両や部隊の位置情報を収集、活動情報を記録しながら緊急現場の活動支援を行います。

いつ、どこで、どのような事態に巻き込まれるかは誰にもわかりません。限られたエリアとはいえ外国から日本に初めてこられた方や横須賀に詳しくない方から位置情報を電話越しに聞き出すこと、緊急事態の渦中にいる当事者から情報を得て対応部隊に素早く伝達すること、業務の全てに人々の命と財産がかかっていると思うとプレッシャーもあり毎日がチャレンジです。

皆様と対応部隊の間をつなぐ立場のため人前にてはなるべく、もしがしたらこんな職場があるということも知られていないかもしれませんが、このような形で当職場を紹介できる機会をいただきありがとうございます。